

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成31年2月21日 (2019.2.21)

【公開番号】特開2017-126926(P2017-126926A)

【公開日】平成29年7月20日 (2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-5692(P2016-5692)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/436 (2011.01)

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/436

H 0 4 R 3/00 3 1 0

H 0 4 N 5/60 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月8日 (2019.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テレビから入力される音声信号をスピーカーに出力する A R C 機能を有する音声処理装置であって、

前記テレビから入力される機器間転送するための規格に従った第 1 デジタル音声信号を、シリアル転送するための規格に従った第 2 デジタル音声信号に変換する変換部と、

前記第 2 デジタル音声信号にデジタル信号処理を行う信号処理部と、

制御部と、を備え、

前記制御部は、前記スピーカーから音声が出力されていない異常状態であると判断した場合に、A R C 機能オフのコマンドを前記テレビに送信し、前記テレビに接続されている電源ラインをローレベルにした後、ハイレベルとし、A R C 機能オンのコマンドを前記テレビに送信することを特徴とする音声処理装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記テレビと所定規格に従った通信を行っており、自装置の内部状態が A R C 機能を実行する状態であり、前記変換部が前記第 1 デジタル音声信号をロックしており、且つ、前記信号処理部が前記第 2 デジタル音声信号をロックしていない状態が、所定時間継続した場合に、前記異常状態であると判断することを特徴とする請求項 1 に記載の音声処理装置。

【請求項 3】

前記所定規格は、C E C 規格であることを特徴とする請求項 2 に記載の音声処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 デジタル音声信号は、S P D I F 信号であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の音声処理装置。

【請求項 5】

前記第 2 デジタル音声信号は、I 2 S 信号であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の音声処理装置。